

資料2 学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果

令和6年9月1日時点

1. 全体

(1) 校舎

	バリアフリー トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター (1階建ての校舎のみ 保有する学校を含む)
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から 教室等まで ^{※1}	
令和7年度末 までの整備目標	避難所に指定 されている 全ての学校に整備 ^{※2}	全ての学校 に整備	全ての学校 に整備	要配慮児童生徒等が 在籍する全ての学校に 整備 ^{※3}
令和6年度 整備状況(校数) 総数 (27,342校 (100.0%))	20,325 (74.3%)	23,165 (84.7%)	17,820 (65.2%)	8,526 ^{※4} (31.2%)
参考: 令和4年度 27,733校 (100.0%)	19,523 (70.4%)	22,805 (82.2%)	16,954 (61.1%)	8,041 (29.0%)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にある教室等までの経路。

※2 令和6年度調査時点で総学校数の約94%に相当。

※3 令和6年度調査時点で総学校数の約43%に相当。

※4 1階建ての校舎のみ保有する学校は225校(総学校数の約0.8%に相当)。

2階建て以上の校舎を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は8,301校(総学校数の約30.4%に相当)。

(2) 屋内運動場

	バリアフリー トイレ	スロープ等による段差解消		エレベーター (1階建ての屋内運動場のみ 保有する学校を含む)
		門から建物の前 まで	昇降口・玄関等から 教室等まで ^{※1}	
令和7年度末 までの整備目標	避難所に指定 されている 全ての学校に整備 ^{※2}	全ての学校 に整備	全ての学校 に整備	要配慮児童生徒等が 在籍する全ての学校に 整備 ^{※3}
令和6年度 整備状況(校数) 総数 (27,137 (100.0%))	13,010 (47.9%)	21,907 (80.7%)	17,778 (65.5%)	19,577 ^{※4} (72.1%)
参考: 令和4年度 27,514 (100.0%)	11,516 (41.9%)	21,429 (77.9%)	17,098 (62.1%)	19,394 (70.5%)

※1 建物の出入口から、建物の出入口階にあるアリーナ等までの経路。

※2 令和6年度調査時点で総学校数の約97%に相当。

※3 令和6年度調査時点で総学校数の約78%に相当。

※4 1階建ての屋内運動場のみ保有する学校は、17,977校(総学校数の約66.2%に相当)。

2階建て以上の屋内運動場を保有する学校で、エレベーターが設置された学校は1,600校(総学校数の約5.9%に相当)。

2025年5月15日 参議院文教科学委員会 れいわ新選組: 船後靖彦

出典: 文部科学省「学校施設のバリアフリー化に関する実態調査 調査結果のポイント」

https://www.mext.go.jp/content/20250327-mxt_sisetuki-000041332_1.pdf

より船後靖彦事務所作成